

がん検診はどんな検査をするの？

①胃がん検診

胃カメラ（内視鏡検査）検査とバリウム検査があります。胃カメラ検査は、細長い管を口や鼻から挿入して胃の内部を直接観察する検査です。バリウム検査はバリウムを飲み、胃を膨らませた状態でさまざまな方向からレントゲン撮影します。胃カメラ検査もバリウム検査も前日の夜から絶食し、胃の中を空にする必要があります。町の検診では9割以上の方が、胃カメラ検査を受けています。

②肺がん検診

胸部レントゲン検査を行います。さらに50歳以上でタバコを多く吸う方や症状がある方のうち問診で必要となった方は、喀痰検査（痰の中にがん細胞がないかを調べる検査）を行います。

③大腸がん検診

目には見えない微量な血液が混じっていないか、2日分の検便で検査を行います。



④前立腺がん検診

採血をして血液中にある「PSA」という値を調べます。前立腺に異常がある場合、数値が高くなります。

がん検診は何歳まで受ければいいのか？

年齢に関係なく、毎日がんは体の中で作られています。免疫機能が毎日、がん細胞を退治していますが、退治しきれなかったがんは、やがて大きな「かたまり」になり体に悪さをするようになります。

いくつになっても定期的ながん検診を受けることで仮にがんが発見されても早期発見のため早期治療につながります。2人に1人ががんにかかる時代です。今年もがん検診を受けましょう！

「健診」と「検診」のちがい・・・

「健」と「検」のちがいはどこにあるのでしょうか。「健診（健康診査）」は今の健康状態を知るためのものです。また「検診」は病気かそうでないかを知るための検査をするものです。だから、健診は「健」の字、がん検診は「検」の字が使われます。自分自身の健康の度合いを知る大事な健診と検診、両方とも受けましょう！



■お問い合わせ 木古内町健康管理センター（保健福祉課保健推進グループ） ☎01392-2-2122

児童手当現況届の提出を忘れずに！

引き続き6月分以降の児童手当を受給するためには、「児童手当現況届」の提出が必要です。この届出は、毎年6月1日の状況を把握し、児童手当を受給するための要件を満たしているかを確認するためのものです。

現況届の用紙は受給者の方へ6月初めに郵送しますので、6月28日（金）までに提出してください。※現況届の提出がない場合は、6月分以降の手当が受けられなくなりますのでご注意ください。

■持参するもの

- ・ 現況届の用紙
- ・ 印鑑（スタンプ式以外のもの）
- ・ 健康保険被保険者証の写し（国民健康保険に加入されている方は不要です）

※このほか、受給者の状況に応じた必要となる書類があります。

■届出・お問い合わせ

町民課住民グループ
☎01392-2-3131

